



砺波高校 センター試験 勝利への 11 カ条

第 1 条 [携行品のチェック]

携行品のチェックは早めにすませる。受験票、鉛筆、消しゴムなど必要なものをそろえ、足りないものがあれば購入しておく。持っていく教材は、使い慣れた参考書やノートに限る。

受験票・写真票の写真貼付(裏面に氏名)・署名を確認する。

[携行品リスト]

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ①受験票・写真票(写真票は最初の試験時に回収) | ⑧受験上の注意 |
| ②H, F, HBの鉛筆7~8本(輪ゴムで止める) | ⑨お金(小銭を忘れずに) |
| ③プラスチック製消しゴム2~3個, 鉛筆削り | ⑩防寒具(コート, 使い捨てカイロなど) |
| ④腕時計(辞書・電卓付きは不可, アラーム解除) | ⑪使い慣れた教材 |
| ⑤ハンカチ, ティッシュ(中身のみ) | ⑫常備薬 |
| ⑥眼鏡(必要な者) | ⑬マスク |
| ⑦弁当, 飲み物 | |

※ シャープペンシルは、メモに使用する場合に限り使用可

※ 携帯電話等は、アラームを解除し電源を切って鞆の中に入れる。
(身につけたり手に持っている、不正行為とみなされる)

※ 「受験上の注意」の中の「試験時間中の注意事項」を熟読する。

第 2 条 [前日の過ごし方]

前日であっても、これまで通りのリズムで食事、入浴、勉強をする。

勉強は、今までやってきたことの確認をしよう。得意分野の確認で自信をつけるのも良い。

「やるだけのことはやった」と自分に言い聞かせて落ち着く。

夜は早めに寝る。なかなか寝つかれない人もいると思うが、それは他の人も同じ。布団に入って横になっているだけでも、脳も身体も休まる。また、自分では寝ていないと思っていなくても結構寝ていることが多い。

第 3 条 [センター試験当日]

当日の朝は余裕を持って起き、朝食を必ずとる。覚悟を決め、気を引き締めて試験に臨む。

1 日目は地歴公民なので、2 科目登録者は 9 時 0 5 分までに、1 科目登録者は 10 時 1 5 分までに試験室に入室しなければならない。2 科目登録者は遅くとも 8 時 3 0 分、1 科目登録者は遅くとも 9 時 4 0 分までに試験場(大学)に到着する。(2 日目の理科①の受験者は 1 日目と同様とする)

2 日目の数学①から受験する人は 1 1 時 0 5 分まで試験室に入室しなければならないので遅くとも 1 0 時 3 0 分には試験場(大学)に到着する。

携行品のチェックをした後、十分に余裕を持って出発する。(天候に注意。公共交通機関の遅れには対応してもらえが、家の人や車が渋滞などで遅れても理由にはならない。また、追試験・再試験の制度があるが、このことが自分のプラスになることはない。)

各会場に着いたら、必ず本校の先生を探して到着したことを報告する！

第 4 条 [受験票を忘れた場合]

試験場本部に行けば仮受験票・仮写真票を発行してもらえるので、心配しなくて良い。

当日、会場で待機している本校の先生に理由を話して、申請することになる。試験会場への移動の途中で受験票などを忘れたことに気づいても無理に取りに戻らない。試験会場に本人がいれば大概のことは何とかできる。(遅刻は試験開始後 2 0 分以内まで受験可。リスニングは不可。)

第 5 条 [試験場へ持ち込める物]

試験場で机の上に置けるのは、受験票・写真票、鉛筆(H, F, HB)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のものは不可)、腕時計(辞書・電卓機能付きは不可)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身だけ)、目薬である。荷物置場があるが、貴重品は携帯する。座布団・ひざ掛けの使用は、監督者に申し出て許可を受ける。携帯やスマートフォンを身につけて試験室への入室は厳禁。必ずアラームの設定解除して、電源を切ってカバンに入れておく。

第6条 〔試験開始前の留意事項〕

1日目：地歴・公民（2科目受験），2日目：理科（2科目受験）は，入室完了から試験終了まで2時間35分あるが，この間は水分補給やトイレ退室ができない。

受験番号と受験科目欄を正確にマークする。受験番号，氏名，試験場コード，解答科目などは，試験開始前に監督者の指示に従ってマークし，記入する。

開始時間までは，問題冊子の注意事項をよく読む。（模試の問題用紙と同じようなことが書いてあると思いこんでしまうと大事なことを見落とすのでしっかり読む。）

地歴公民や数学ⅠAなど複数科目が1冊になっている場合は，問題の開始ページを確認する。

第7条 〔試験中の留意事項〕

落ち着いて正確かつ迅速な解答を心がける。普段のテストと同じように解いていく。

いつもと違ったことをしない。緊張やあせりを感じた時は，ゆっくりと何度も深呼吸をする。

時間内に解答が終わっても気を緩めない。白いページの後にまだ問題が続いている場合がある。

必ず冊子の最後まで確認する。

「瓜田に履を納れず 李下に冠を正さず」試験監督の指示に従い，疑いをまねく行為をしない。

第8条 〔マークミスに注意〕

マークの「ダブリ」や「ズレ」は大量失点につながる。設問番号と解答番号は記入の始めと終わりの2回はしっかり確認する。難しく飛ばした設問があるときは特に注意が必要。数学では分子・分母のマーク箇所も間違えない。数学ⅡBでは，文字をマークする場合がある。

第9条 〔マークに迷ったら〕

マークをしない設問を作らない。マーク「ズレ」が起こることがある。行き詰まったら問題文に戻って考えよう。選択肢を1つに絞れなくても自分なりのルールを決めて，必ず答えを出す。例えば，迷った場合は必ず大きい(小さい)解答番号を選ぶとか，文章の長い(短い)解答番号を選ぶなど。終了間際になり答えに自信がなくても，書き直さない。最初の答えが正解の場合が多い。もう一度考え直す時間があるとき以外は，最初の答えを尊重せよ。

第10条 〔試験終了後〕

終わった試験のことは考えない。友人と答えあわせをすることもしない。試験と試験の間の休み時間が長い，この間に気持ちを切り替えて，次の試験のことに集中する。周囲の生徒の言動を気にしない。

第1日目の試験が終了した後，ネット等で正解を知ることもしできるが，見ない。悪ければショックを受けるし，良ければ油断する。プラスになることはない。2日目に向けて集中する。

第11条 〔センター試験受験票の保管〕

センター試験の受験票は，国公立大学2次試験や大学入学手続きの時に必要があるので，大切に保管しておく。

日曜日の夜は体を休め，月曜日に備える。

月曜日は定刻登校。すべての問題冊子，黒のボールペン，電卓を持参する。
自宅で採点してくる必要なし。



学校での自己採点が個別試験へのスタート!!

- | | | | |
|--|--------------|---------|--------------|
| ○当日の朝に緊急事態が発生した場合は，学校(7:30～9:00)に連絡して指示を受ける。 | | | |
| 3年職員室 | 0763-33-2960 | 砺波高校事務室 | 0763-32-2447 |
| 「受験上の注意」参照（問い合わせ大学→受験会場大学）必ず受験票で確認。 | | | |
| 富山県立大学 | 0766-56-7500 | 高岡法科大学 | 0766-63-3388 |